

広島のワクワクを創造する



# 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2025年11月14日  
広島電鉄株式会社

証券コード：9033

# 2026年3月期 第2四半期(中間期) 連結経営成績



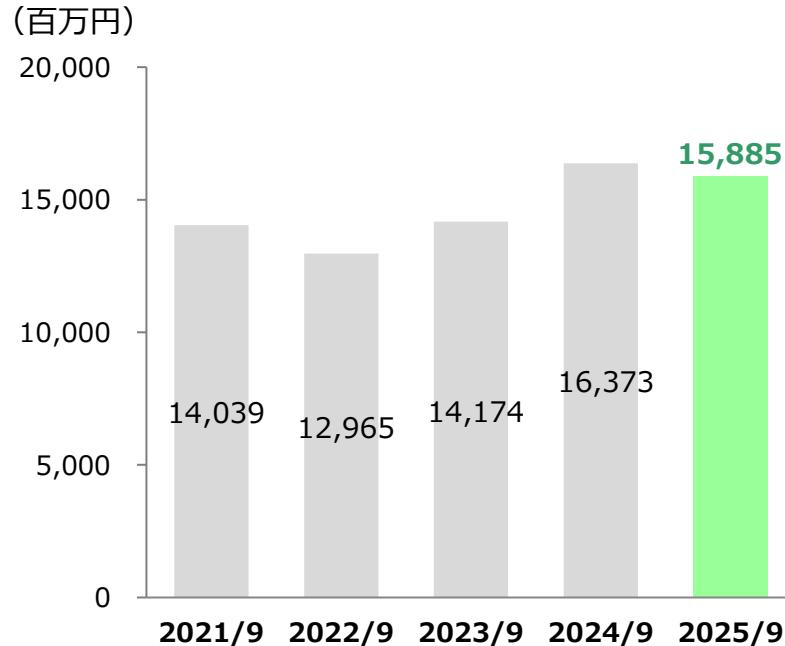
(百万円)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
売 上 高	16,373	<b>15,885</b>	△488 (△3.0)	2025年8月の「駅前大橋ルート」開業もあり、来広するインバウンド客および国内旅行客の増加や、「MOBIRY DAYS」の利便性向上などの交通サービスの維持・向上により、運輸業や観光関連事業における収益は増加。一方、不動産業および民間の建築工事の減少等により、グループ全体としては、減収
営 業 利 益	△588	<b>△475</b>	+113 (-)	
経 常 利 益	△490	<b>△361</b>	+129 (-)	
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	△335	<b>△24</b>	+311 (-)	特別損益は、前年度より「運行補助金」や「投資有価証券売却益」が増加したことにより改善
1 株 当 た り 中 間 純 利 益	△11.05円	<b>△0.80円</b>	+10.25円	

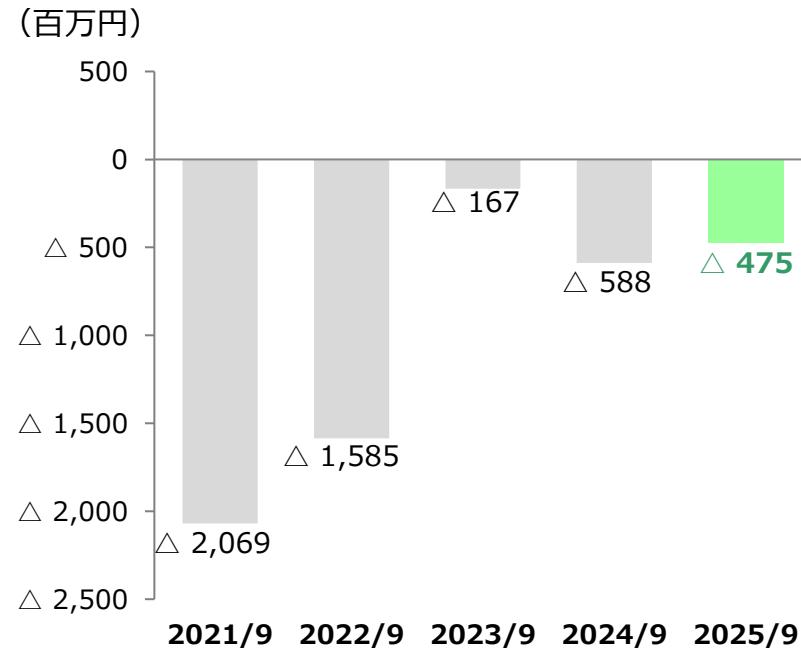
# 連結業績の推移（営業収益・営業利益）



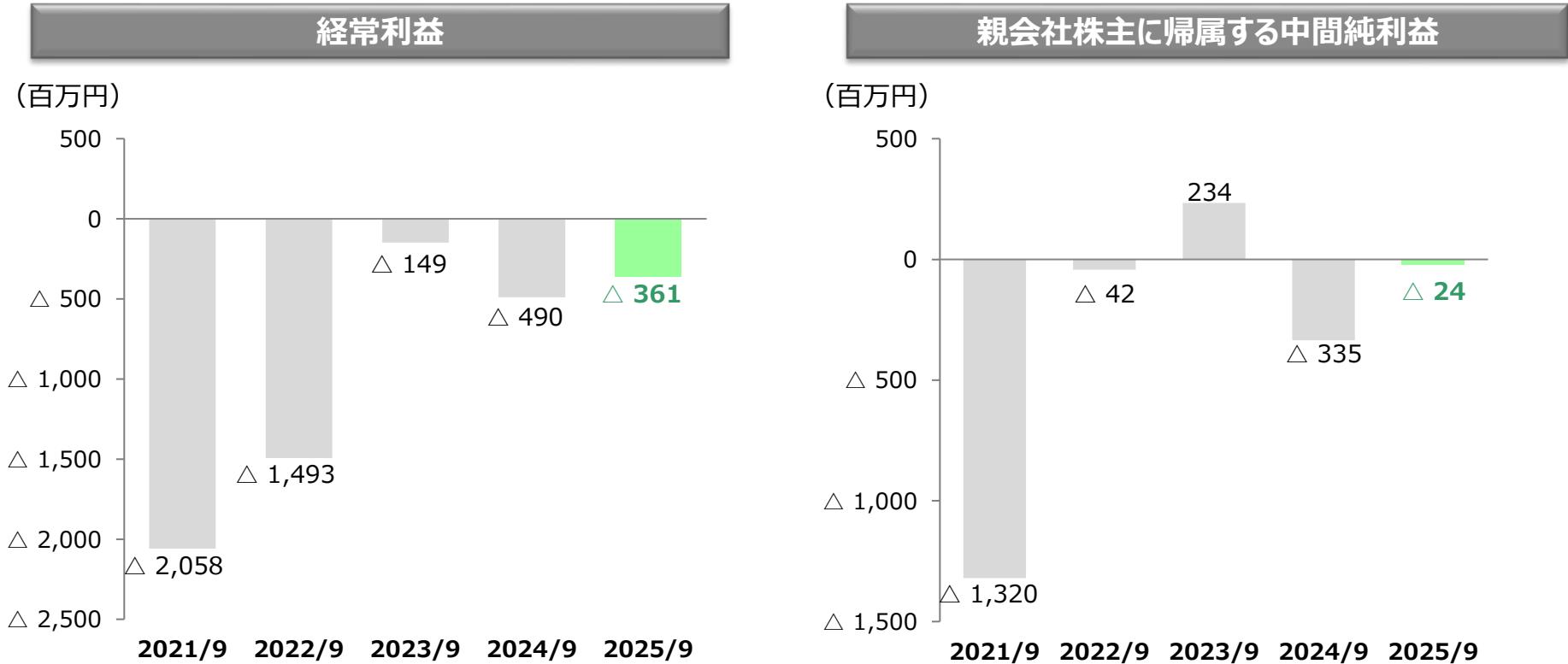
## 営業収益



## 営業利益



# 連結業績の推移（経常利益・中間純利益）



# 連結貸借対照表(B/S)



(百万円)

		2025/3期	2026/3期 中間期	増減	主な増減要因
流 動 資 産	16,444	11,010	△5,434	現金及び預金△1,154 その他（未収金他）△3,826	
固 定 資 産	87,637	86,702	△935	有形固定資産△1,807 投資有価証券+923	
資 産 合 計	<b>104,082</b>	<b>97,712</b>	△6,369		
流 動 負 債	31,919	24,945	△6,973	未払金△6,215 前受金△688 短期借入金△368	
固 定 負 債	29,400	29,607	+207	長期繰延税金負債+332	
負 債 合 計	<b>61,319</b>	<b>54,553</b>	△6,765		
株 主 資 本	16,867	16,614	△252	利益剰余金の減少	
その他の包括利益累計額	24,852	25,460	+607	その他有価証券評価差額金+639	
非支配株主持分	1,041	1,083	+41		
純 資 産 合 計	<b>42,762</b>	<b>43,158</b>	+396		
負 債 純 資 産 合 計	<b>104,082</b>	<b>97,712</b>	△6,369		

# 連結損益計算書 (P/L)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減	主な増減要因
営業収益	16,373	15,885	△488	運輸業+1,163 建設業△1,079
運輸業等営業費及び売上原価	13,849	13,196	△652	人件費+190 経費+483 諸税+17
販売費及び一般管理費	3,112	3,164	+51	減価償却費+261 売上原価△1,554
営業損失(△)	△588	△475	+113	
営業外収益	232	272	+40	受取配当金+46
営業外費用	134	158	+24	支払利息+33
経常損失(△)	△490	△361	+129	
特別利益	426	3,312	+2,885	工事負担金等受入額+2,579
特別損失	193	2,899	+2,706	固定資産圧縮損+2,571
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△257	51	+309	
法人税・住民税及び事業税	48	106	+57	
法人税等調整額	12	△85	△98	
中間純利益又は中間純損失(△)	△319	31	+350	
非支配株主に帰属する中間純利益	16	55	+38	
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△335	△24	+311	

# 連結キャッシュ・フロー(C/F)



(百万円)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,773	<b>141</b>	△1,631	前期に計上した未払金の支出が影響し減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,827	<b>△498</b>	+2,328	「駅前大橋ルート」整備工事に係る「有形固定資産」への設備投資支出があったものの、同工事への補助金受領により資金支出の減少
財務活動によるキャッシュ・フロー	642	<b>△799</b>	△1,442	有利子負債の圧縮による減少
現金及び現金同等物の増減額	△410	<b>△1,156</b>	△746	
現金及び現金同等物の期首残高	3,906	<b>4,019</b>	+113	
現金及び現金同等物の期末残高	3,495	<b>2,862</b>	△632	

# セグメント別経営成績①運輸業



(百万円)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	10,205	<b>11,369</b>	+1,163 (+11.4)	鉄軌道事業において、新路線「駅前大橋ルート」の開業により利用者が増加
セグメント利益	△1,238	<b>△1,133</b>	+105 (-)	鉄軌道事業・自動車事業では、2025年2月1日の運賃改定の実施により、 <b>増収</b>
運行補助金	233	<b>391</b>	+157 (+67.6)	運行補助金について、前年同期より前倒しで受領したため增加
運行補助金を含めた損益	△1,004	<b>△741</b>	+263 (-)	海上運送業・索道業では、インバウンド客を始めとする宮島来島者数の増加により、 <b>増収</b>

# セグメント別経営成績②流通業



(百万円)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	621	643	+22 (+3.7)	山陽自動車道の宮島サービスエリアにおいて、中国地方での全国高等学校総合体育大会の開催や、GWや夏休み期間中のレジャー客の利用増加により、 <b>增收増益</b>
セグメント利益	10	14	+3 (+31.1)	

# セグメント別経営成績③不動産業



(百万円)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,647	1,592	△55 (△3.4)	不動産販売業では、住宅販売に大きな収益計上が無かつたことが影響し減収となったものの、不動産賃貸業においては、2024年12月にオープンした広島市佐伯区の「イオンタウン楽々園」の土地の賃貸収入の計上等により、増益
セグメント利益	531	537	+6 (+1.2)	

# セグメント別経営成績④建設業



(百万円)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	3,803	2,723	△1,079 (△28.4)	前年に引き続き広島駅前大橋ルート整備事業の進捗は あったものの、民間の建築工事の減少等により、 <b>減収減益</b>
セグメント利益	100	92	△8 (△8.0)	

# セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業



(百万円)

	2025/3期 中間期	2026/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	455	448	△7 (△1.6)	ゴルフ場において、施設や運営の改善に努めたものの、来場者数は減少となり、 <b>減収</b> ゴルフ練習場において、練習環境の整備や商品開発などの販売活動に取り組んだものの、 <b>減収</b>
セグメント利益	△19	△11	+7 (-)	ボウリング場においては、多数のイベントを実施し、来場者数が増加したことにより、 <b>增收</b>

# 2025年度の主な設備投資



## 2025.4～2025.9（実績）

### 金額

広島駅前大橋ルート整備		<b>828</b> 百万円
電車運行管理装置導入		<b>824</b>
乗合バス車両	10両	<b>275</b>

## 2025.10～2026.3（予定）

### 金額

乗合バス車両	23両	<b>682</b> 百万円
5200形グリーンムーバーAPEX	1編成	<b>605</b>
「MOBIRY DAYS」追加開発		<b>107</b>



▲5200形グリーンムーバーAPEX

# 2026年3月期 連結通期業績予想



(百万円)

	2025年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売 上 高	33,709	<b>35,700</b>	+1,990 (+5.9)	運輸業では、移動需要の活発化や国内外からの観光需要の更なる取り込みに加え、2025年2月に実施した運賃改定や、8月の「駅前大橋ルート」開業も寄与し増収を見込む。不動産業では、分譲マンション「ザ・広島フロント」の引き渡しによる増収を見込む。
営 業 利 益	△1,419	△450	+969 (-)	修繕費や減価償却費等の経費が増加するものの、上記の増収により、営業利益・経常利益は増加を見込む。
経 常 利 益	△1,243	△300	+943 (-)	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,379	<b>1,350</b>	△29 (△2.1)	特別損益において運行補助金や退職給付改定益が減少するほか、特別損失の計上を見込んでいる。 法人税等調整額の増加を加味した結果、当期純利益は前年並みを見込む。

# 連結業績予想の前提条件



## 収入の見通し(セグメント別)

セグメント	収入比 対前年	備考
運輸業	+8%	2025年2月実施の運賃改定による增收効果に加え、2025年8月「駅前大橋ルート」の開業に伴う利用者の増加を想定
流通業	+2%	引き続き高速道路の交通量とともに来店者も増加することで、宮島サービスエリアの売上増を想定
不動産業	+16%	分譲マンション「ザ・広島フロント」の販売収入による增收を想定
建設業	△14%	民間の建築工事の減少等による減収を想定
レジャー・サービス業	+3%	ゴルフ練習場事業にて打席システムリニューアルに伴う料金改定等の実施による增收を想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542